

10 / 20 thu. 21 fri. 呉信用金庫ホール

UNICORN

ユニコーンが広島・呉で祝祭2DAYS。
川西セレクションで伝説の夜に!

とんでもないニュースが舞い込んできた。広島発祥のバンド・ユニコーンが、呉信用金庫ホールを舞台に、2日連続で特別な“祭”を敢行するというのだ。呉と言えば『仁義なき戦い』や『この世界の片隅に』など、映画の舞台としても知られる人口21万人の港町。初日は、川西幸一の63回目誕生祭、2日目はユニコーンのデビュー35年記念祭。どちらも選べない祝祭じゃ! ということで、2日間をまとめてライブレポートするけえのう。

まず、今回のライブの肝と言えるのが“セットリスト～選曲～”。百戦錬磨、さまざまなアイデアを具現化し、誰も予想しない角度から笑顔と

感動を生み出すユニコーン。稀代のライブ発明バンドにしては、目玉が選曲とは、いささかシンプルな気もするが…これが、とんでもない伝説を生み出すことになるとは!?

2日間のセットリストを制作したのは、ライブ当日に誕生日を迎える川西幸一。さわやかな笑顔と、パワフルすぎるドラミングで人気を集める奇跡の63歳。なんと、昨年からは地元の呉に拠点を移し、名実ともに地元人として舞台上立つのだ(噂では、会場に家から自転車まで来ていたらしい)。賢明なるユニコーンファンならご存じだろう。まったく裏表のない川西さんが、いったいどんな曲を選ぶのか?

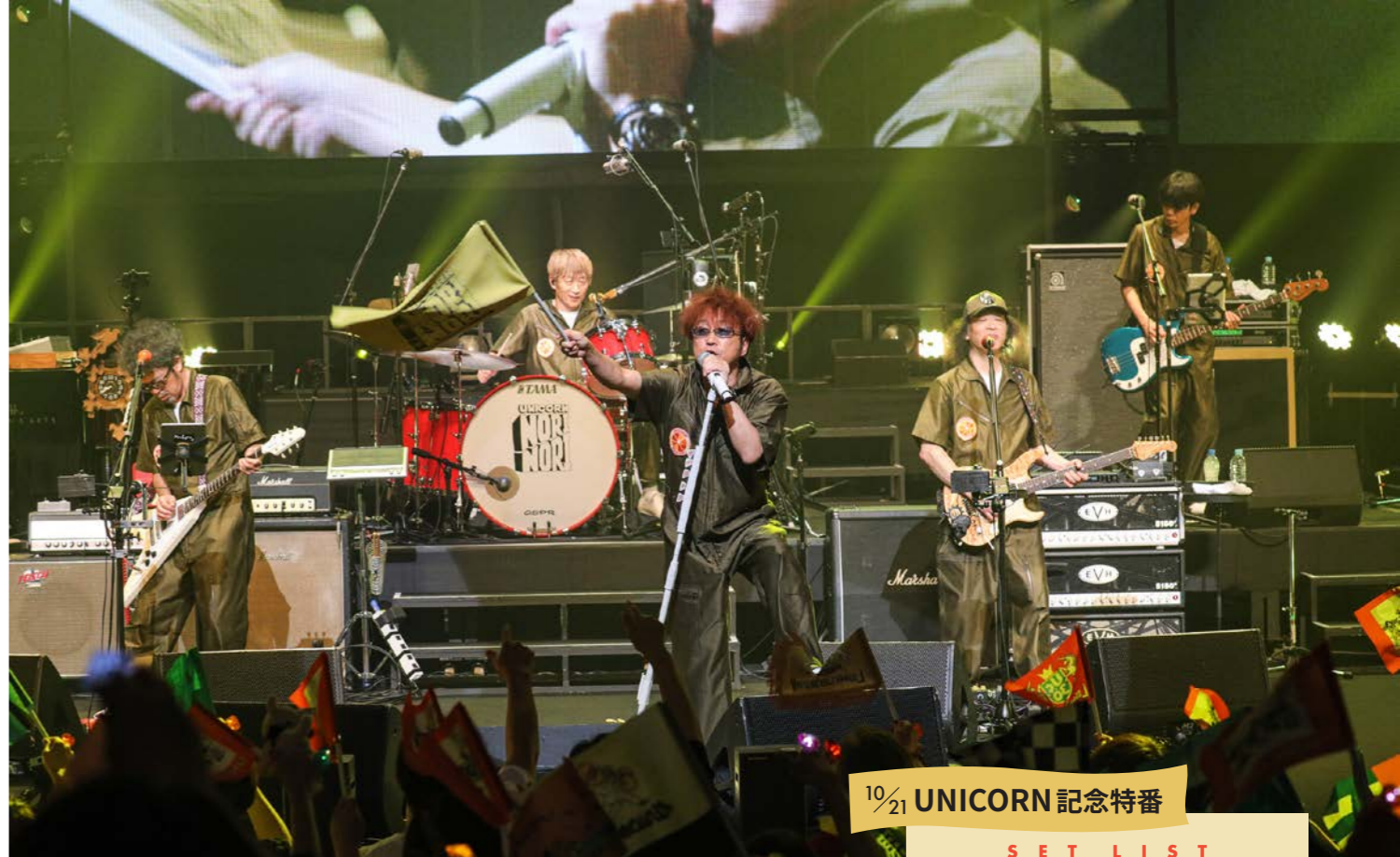
DAY-1。まずは、お揃いのツナギに身を包んだ川西以外の4人が姿を表すと、全国から集まったファンが盛大な拍手で迎え入れる。それぞれの楽器ポジションにつきながら、ドラムに座ったのは奥田民生。ゆっくりと登場した主役の川西幸一は、尺八を手に、真っ赤な法被に身を包んだサングラス姿。時代小説を愛する川西が、作詞作曲を手がけた『R&Rはくれ侍』。尺八マイクで、味のある歌声を披露する! そのまま初期の川西楽曲『素浪人ファーストアウト』へ。ABEDONの沁み渡るハーブ。シンプルなおびのベースラインに、手島いさむの枯れたギターが重なり合う。奥田がタム回して楽曲を締めると思いきや、リズムをキープしたまま川西とチェンジする離れ業。ドラム&ボカールで『GoodTimeバレンタイン』へ。ここで、水を得た魚のようにリズムを叩き込む川西の独壇場。まさに誕生祭にふさわしい幕開けだ!

「気がすがいいよ」と、川西へ奥田が一言。さらに、「今日

は色々すごいよ」と匂わせる。ABEDONのシンセが荘厳な音色を響かせると『ヒゲとボイン』へ。気合の入った5人のパフォーマンスに会場が沸く! カメラ目線の川西幸一サービスショットが後方ビジョンに映し出される。「もうこの曲? ふつう最後の方じゃないの?…今回は、全部川西さんが選曲してます」と奥田がネタバラシ。『オッサンマーチ』でテッシーがロックンロールを爆発させると、間髪入れずにEBIと奥田が呼吸を合わせて『ベケベケ』。普段とは、どこか違う曲の並びに、イントロが鳴るたび客席からもどよめき。ABEDONが次曲の準備をしながら「私、手一杯なんですけど」とボヤき、「この後も気が遠くなる感じ」と奥田が同調。ここで『すばらしい日々』に突入すると、切ないメロディに胸が締め付けられる。「どうもありがとう! 呉〜〜!」。熱い叫びはエンディングの空気感。「さよなら〜〜!」と思わず奥田。しかし、まだまだ中盤。川西が「たまには、ええじゃろ?」と確信犯的なスマイルを見せると、「しょうがない、誕生日の人が言うんだもん」と泣かす4人。手島が歌う『デーゲーム』から『DENDEN』へと繋がっていき、幻想的なムードを創り出す。重なり合う映像演出や照明も素晴らしい! 余韻を残さず、四つ打ちのリズムから『キミトデカケタ』。ポリシックスから借りてきたバイザーをかけた川西が楽しそうに喉を震わせる。輝くサイリウム! 続く『ザ・マン・アイ・ラブ』も、川西ボカールバージョン。奥田のドラムに、手島とABEDONのツインギターがヘヴィに重なり合う。ニューウェーブからハードロックまで、この音楽的振幅がユニコーンじゃ。勢いそのまま『大迷惑』で火柱があがり、奥田が炎に手を突っ込むパフォーマンス(スパークラーという電子花火で、熱くないらしい)。ステージを走るEBI、手島のギターソロ、熱狂のオーディエンス!

全 てを出し尽くしたユニコーンに、次の曲が襲いかかる。ダンサブルな『PTA～光のネットワーク～』のイントロにのって、腰を揺らすオジサンたち。手拍子に乗ってステージはディスコ状態。川西 & EBIのラップや、Choo Choo TRAIN的ロールダンスまで飛び出すお祭り騒ぎで、はしゃぎ過ぎたメンバー。アウトロでバタバタと倒れ込む。しかし、川西選曲は手を緩めない! 奥田のクイーカがリズムを奏でると『チラー Rhythm』で、さらに加速するダンスホール。ミラーボールが輝き、極彩色でド派手な空間に。「最後にやる曲しか、やってない」と、ライブの終盤に演奏する大ネタ曲の連打にボヤク奥田。「まだある

ぜ、おい!」。ABEDONの心の声がマイクに乗る。ラウドなミクスチャーロック『さらばビッチ』で、重厚なギターの上を、川西とEBIがラップを刻み、ABEDONが渾身のシャウト! ライブの定番『SAMURAI 5』では、客席で振られるフラッグが祝祭感を高めつつ、楽曲中盤のABEDON語りパートで、あからさまに休憩(笑)。キャノン砲で銀テープが空を舞い、この夜、何度目かのクライマックス。さらにライブは宇宙へ! スペーシーなイントロから『Feel So Moon』。ハードな選曲にも関わらず、完成度の高い演奏で心まで高く飛んだ後、ダメ押しは川西作詞の名曲『おかしな2人』!! ここで、もう一段階ギアを上げられるのがベテランバンドの底力。疲労困憊の表情で「最



10/21 UNICORN 記念特番

SET LIST

- | | |
|------------------|-------------------|
| 01. Maybe Blue | 12. 大迷惑 |
| 02. WAO! | 13. PTA～光のネットワーク～ |
| 03. BLACKTIGER | 14. チラー Rhythm |
| 04. ヒゲとボイン | 15. さらばビッチ |
| 05. オッサンマーチ | 16. SAMURAI 5 |
| 06. ベケベケ | 17. Feel So Moon |
| 07. すばらしい日々 | 18. おかしな2人 |
| 08. デーゲーム | 19. ひまわり |
| 09. OH! MY RADIO | ENCORE |
| 10. 米米米 | 01. HELLO |
| 11. ミレー | 02. 働く男 |

後の曲です!」と奥田が告げると、鳩時計からの『OH! MY RADIO』。壮絶な“祭”のラストにふさわしい、堂々のパフォーマンスで幕を閉じた。

あまりにも濃いライブのアンコールは、熱狂の川西幸一ドラムショーから。途中でスティックを投げ、素手でスネアを叩くなど技もたっぷりと見せつけつつ、音で雄弁に語る姿がたまらない。そのままリズムは『WAO!』へ。飛び跳ねる客席、途中でABEDONの声が変わり、誕生日ケーキ(戦艦大和に、ご当地ゆるキャラの呉氏が乗った特注品)が運び込まれるサプライズもありつつ。川西さんから「呉も、広島も、山形も、ぼくらの故郷なんで、これからも付き合ってください」と温かい挨拶。本当のラストソングは初期ナンバー『I'M A LOSER』…の音源を口パクしてからの『働く男』。濃厚すぎる川西誕生祭に、拍手は鳴り止まなかった。

そしてDAY-2。この日は、1987年にファーストアルバム『BOOM』が発売されたデビュー記念日。ステージは白い幕で隠されている。今日は何が起こるのか? ムービングライトが会場を照らし、シルエットが浮かび上がると、聴き慣れたピアノのイントロが鳴り響く。オープニングは『BOOM』を代表する『Maybe Blue』! ハンドマイクの奥田が、腰を落としシャウト。重いビートと太いサウンド、アレンジは変わらずとも35年の時を超えて進化した名曲に、涙腺が緩む。そのまま再始動後、最初のシングル『WAO!』で一気にピークへ。前日のアンコールが2曲目に披露だと、この先はといったい? ボカールEBIがフロントに立ち『BLACKTIGER』を爽やかに歌い上げるとMCタイム。「昨日の川西セレクションのダメージはまだあるんですよ…。でも、今日も似たようなものです」と奥田。ここから3曲は、前日と同じ流れ。しかし、改めて序盤から濃い内容だ。「基本、変わらんやん」と奥田が吹き、「大規模には変えられんよ」と手島。それでも前日よりパフォーマンスに余裕を感じるのが、海千山千のユニコーンらしい。また、ライティングや

映像演出には大きく手が加えられており、連日参加のファンも、比較しながら楽しめる内容になっている。

さらに同じ曲順で2曲続けた後、前日の本編ラストだった『OH! MY RADIO』で、ABEDONと奥田のボカールが重なり合う。続いてEBIが再びフロントラインへ歩み出ると、「狙ったエモノは?」と客席に語りかける。最新アルバム『ツイス島&シャウ島』より『米米米』へ。ベースはABEDONが担当、艶っぽいロックンロールに続けて、ピアノに座り直したABEDONの叫びから『ミレー』へ。奥田がSAXを吹きまくり、古き良きR&Rサウンドを再現する。しかし、なんと引き出しの多いバンドだろう。

ただだ祝祭は続く。前日に続き『大迷惑』から2曲のダンスナンバーで、わちゃわちゃとステージでふざけ合う姿がたまらない。『さらばビッチ』から、怒涛のラストパートへ。そして遂に『SAMURAI 5』の間奏でABEDONの不満が爆発する! 「なんだ、この曲順は! ラーメンの後に、とんかつ、唐揚げ、ホルモン…次は何を食うっていうんだ!」「ステーキ…食おうや」と川西が即答。たっぷりトークで休んだ後、『おかしな2人』まで一気に疾走し、迎えた本編ラスト。安堵の表情を浮かべた奥田が「果てしなく、続くような〜」と歌い出した『ひまわり』で、壮絶に繰り広げられた2日間は素晴らしいエンディングを迎えた。

アンコールに呼び込まれ、登場した5人。「い

つもは舞台監督が曲順を決めるんですよ…。同じ曲でも、流れや順番は大事よね」としみじみ奥田。36年目に向けて走り出した『HELLO』では、過去のライブシーンとシンクロさせた映像にグッとくる。なんだかんだと見事に伝説のライブを作ってしまうユニコーン。感動的なムードのまま、「ここで帰っていいですか」とABEDON。「なんちゅう曲順じゃ!」と奥田。最後の最後は『働く男』で締めて、鏡開きで祝杯! まだまだ5人には働いてもらいましょう(笑)。おめでと、川西幸一さん&ユニコーン!



10/20 川西誕生祭

SET LIST

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 01. R&Rはくれ侍 | 12. 大迷惑 |
| 02. 素浪人ファーストアウト | 13. PTA～光のネットワーク～ |
| 03. GoodTimeバレンタイン | 14. チラー Rhythm |
| 04. ヒゲとボイン | 15. さらばビッチ |
| 05. オッサンマーチ | 16. SAMURAI 5 |
| 06. ベケベケ | 17. Feel So Moon |
| 07. すばらしい日々 | 18. おかしな2人 |
| 08. デーゲーム | 19. OH! MY RADIO |
| 09. DENDEN | ENCORE |
| 10. キミトデカケタ | 01. WAO! |
| 11. ザ・マン・アイ・ラブ | 02. 働く男 |

